

司法 アクセス学会

第13回学術大会

日時：2019年11月30日(土)
午後1時～午後5時

場所：明治大学(駿河台キャンパス)
リバティタワー1011教室

東京都千代田区神田駿河台1-1

- ・JR中央線/総武線「御茶ノ水」駅 徒歩約3分
- ・東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」駅 徒歩約4分
- ・東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 徒歩5分
- ・都営三田線/都営新宿線/東京メトロ半蔵門線「神保町」駅 徒歩約5分

超高齢社会における 司法アクセスについての 多角的な検討

※企画趣旨は裏面をご覧ください。

スケジュール

I. 基調講演

講演者①：佐藤 岩夫 氏 (東京大学社会科学研究所教授)

「超高齢社会における司法アクセスの課題

——大規模社会調査による実態把握の試み」

講演者②：濱野 亮 氏 (立教大学法学部教授)

「超高齢社会の司法アクセス問題

——構造と改革：司法ソーシャルワークを手がかりに」

II. パネル・ディスカッション

パネリスト：基調講演者〔佐藤岩夫氏・濱野亮氏〕

福井 晶喜 氏 (国民生活センター相談情報部)

「高齢者の消費者トラブルの現状と国民生活センターの取り組み」

矢野 和雄 氏 (弁護士・矢野法律事務所)

「実務家が見た高齢者の司法アクセス障害の特徴と課題」

伊見 真希 氏 (日本司法書士会連合会常任理事)

「地域における高齢者の生活・福祉相談と民事司法分野の連携について」

田後 隆二 氏 (日本行政書士会連合会専務理事)

「利用者が望む成年後見制度・成年後見人への模索」

コーディネータ：田口 義明 氏 (名古屋経済大学名誉教授)

参加申込み受付／お問い合わせ先

司法アクセス学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

参加をご希望の方は、お名前・ご所属・ご連絡先を明記のうえ、上記アドレス宛にお申込みください。
または、裏面の参加申込書にご記入のうえ、FAXで送信してください。いずれかの方法でかまいません。

《学会員以外の方もご参加いただけます》

E-mail: jaajoffice@gmail.com

東京大学社会科学研究所 飯田高研究室内

司法アクセス学会

第13回学術大会

第13回学術大会テーマ：

「超高齢社会における 司法アクセスについての多角的な検討」

〔企画趣旨〕

日本は、2007年に超高齢社会に突入した。すでに4人に1人以上が65歳以上であり、高齢者の割合は年々増加している。このような社会の急速な高齢化は、司法アクセスとの関係でも、様々な課題を生じさせている。弁護士会、司法書士会、行政書士会を初めとする各種関係機関・団体においても、高齢者に関する課題は重要な課題の1つとして位置づけられており、関係者の間では、すでに「見慣れた」テーマといえるかもしれない。

しかし、超高齢社会における司法アクセスの問題は、各種関係機関・団体において個別に取り組みられてきた一方で、業務分野の垣根を超えて多角的に検討する試みはこれまでなされてこなかった。

超高齢社会における司法アクセスの問題は、実に多岐にわたる。いくつか具体例を挙げてみよう。まず、高齢者と法専門職をどのようにつなぐかという観点からは、高齢者の潜在的な法的ニーズの顕在化や司法と福祉の連携化などが課題として指摘されてきた（「超高齢社会における高齢者・障がい者の司法アクセスに関するニーズ調査報告書」日本弁護士連合会 2018年10月参照）。次に、弁護士、司法書士、行政書士の三者に関連する制度として、成年後見人制度の利用者は依然として低水準であり、制度の周知・利用促進が急務となっている。さらに、官公庁の業務の電子化も、高齢者にとっては課題となりうる。特に、司法書士の業務分野では、登記事務の電子化がすでに実現した。行政書士の業務分野でも、いわゆる「電子自治体」が推進され、多くの行政サービスの提供について、コンピュータを通じた電子化が進んでいるところである。このようなサービスの電子化は、多くの人々にとっては利便性が増す一方で（第11回学術大会参照）、最新の科学技術に適応できない高齢者にとってはむしろアクセス障壁となりがねない。そして、消費者保護の観点からは、高齢者に顕著に見られる消費者問題（特に、高額商品や投資などをめぐる詐欺的なトラブル）への対応が大きな課題である。

そこで、本シンポジウムでは、弁護士、司法書士、行政書士、国民生活センター、それぞれの業務分野に関連する現状と課題を多角的に共有するとともに、超高齢社会における司法アクセスの改善・向上に向けての現実的な対応を総合的に考えてみたい。

参加申込書

メールで jaajoffice@gmail.com 宛にご連絡いただいても差し支えございません。

FAX: 03-5841-3159 ※切り取らずそのままFAXしてください。

第13回学術大会に 参加します

懇親会のご出欠： ご出席 ・ ご欠席

〔お名前〕 _____

〔ご所属〕 _____

〔ご連絡先〕

TEL : _____

E-mail : _____